



ユアサ商事株式会社
(東証プライム：8074)



2023年3月期 決算説明会

2023年5月17日
代表取締役社長 田村 博之

1

2023年3月期 決算概要

2

中期経営計画
「Growing Together 2023」の振り返り

3

新・中期経営計画
「Growing Together 2026」

4

2024年3月期 業績計画

1

2023年3月期 決算概要

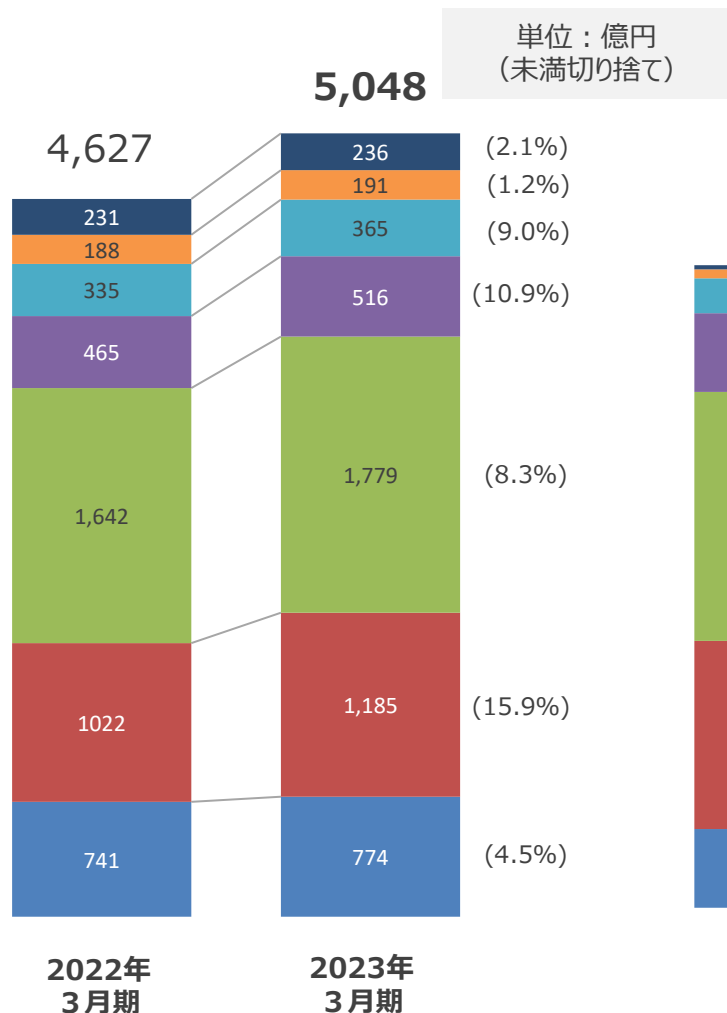
単位：億円（未満切り捨て）

	2022年 3月期	2023年 3月期	増減率	通期計画 (開示数値)	計画比
売上高	4,627	5,048	+9.1%	4,900	+3.0%
売上総利益 (率)	482 (10.42%)	524 (10.39%)	+8.7%		
販売費及び 一般管理費	363	378	+4.0%		
営業利益 (率)	118 (2.57%)	145 (2.89%)	+22.9%	135 (2.8%)	+8.1%
経常利益 (率)	117 (2.54%)	153 (3.05%)	+31.0%	145 (3.0%)	+6.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	80	100	+25.1%	95	+6.1%

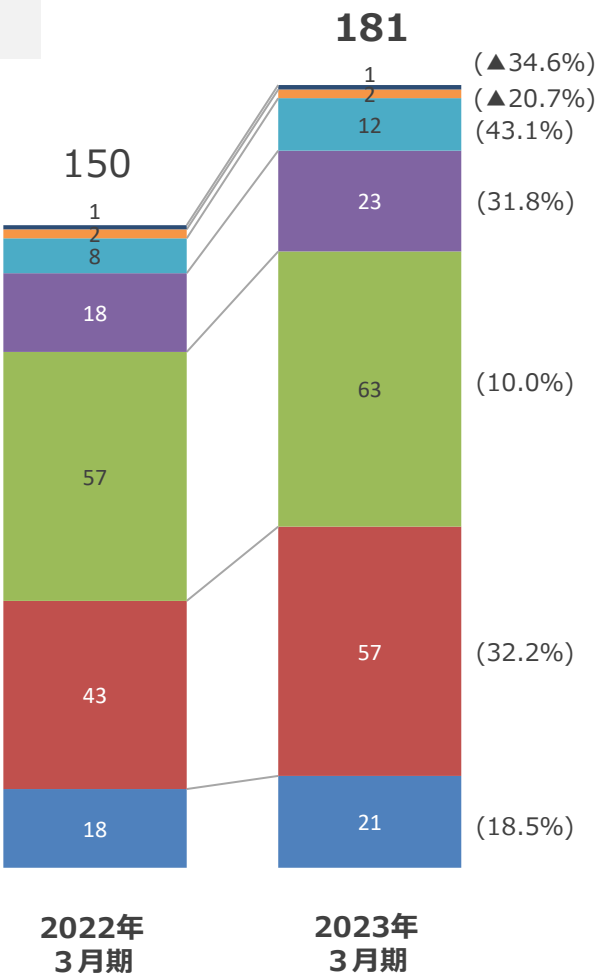
※収益認識基準適用後の数値を採用しています。

セグメント別 売上高・営業利益

セグメント別 売上高



セグメント別 営業利益



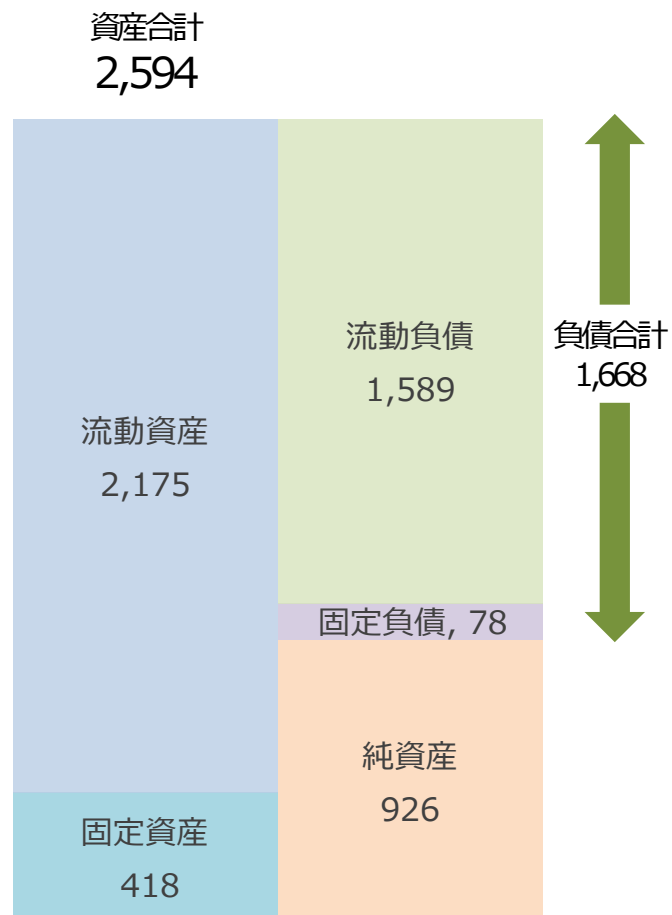
主な増減要因

- 産業機器**
工場稼働率は堅調、制御関連機器を中心に伸長
- 工業機械**
国内：EVモーター等自動車関連産業が好調
海外：大型生産設備案件の受注増
- 住設・管材・空調**
分譲・リフォーム需要向け住宅設備機器が堅調
太陽光パネル・蓄電池等の再エネ関連商材の需要増
- 建築・エクステリア**
景観エクステリア商材、建築金物商材が堅調
公共向けレジリエンス対策商品などの伸長
- 建設機械**
インフラ整備、防災・減災工事の公共ニーズ増
建機レンタルは資材・エネルギー価格高騰の影響残る
- エネルギー**
原油価格が引き続き高値で推移
船舶用燃料、SSにおけるカーケアサービスの強化
- その他**
消費財：季節家電の新商品開発と拡販
木材：調達チャネル拡充、国産材の販売に注力

※収益認識基準適用後。 ※ () 内は増減率

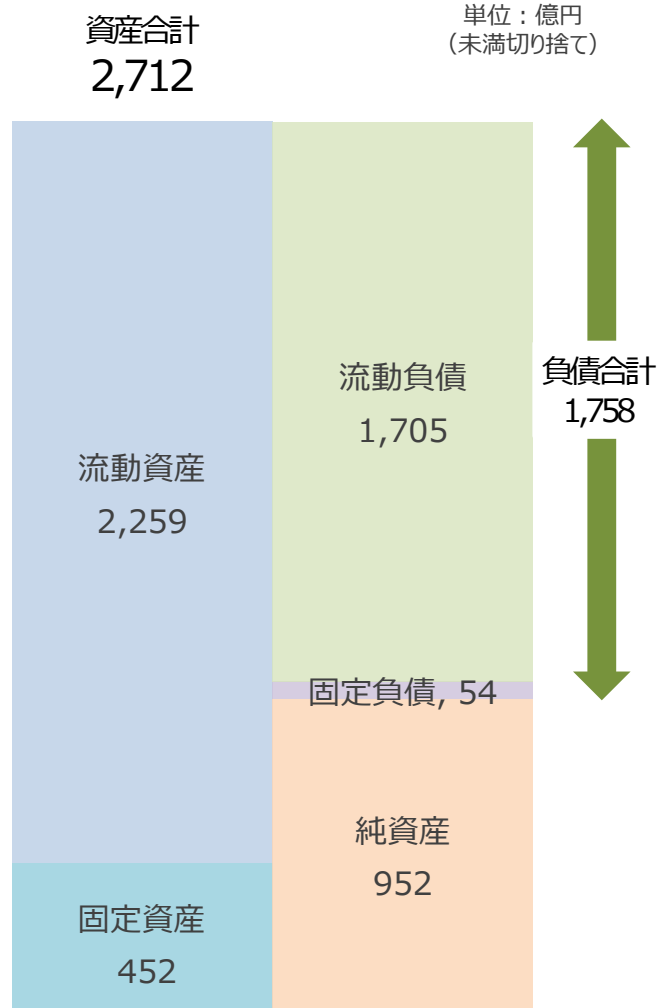
連結貸借対照表

単位：億円
(未満切り捨て)



2022年3月期末

自己資本比率
35.5%



2023年3月期末

自己資本比率
34.9%

《主な増減要因》

- 流動資産 +84 売上債権 +71
棚卸資産 +23
- 固定資産 +33
- 流動負債 +115 仕入債務 +82
未払法人税等 +28
- 固定負債 △24 繰延税金負債 △24
- 純資産 +26 利益剰余金 +71
自己株取得 △36

連結キャッシュ・フロー

単位：億円（未満切り捨て）

項目	2022年3月期	2023年3月期	増減主要因
	実績	実績	
営業活動によるキャッシュ・フロー	102	83	税金等調整前当期純利益：+25 売上債権：△106 仕入債務：+98 法人税支払：△23
投資活動によるキャッシュ・フロー	47	△28	有形固定資産の取得による支出：△12 有形固定資産の売却による収入：△26 投資有価証券の売却による収入：△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35	△68	自己株式の取得：△37 配当金の支払額：△3 短期借入金：+5
現金及び現金同等物の増減額	115	△11	
現金及び現金同等物の期末残高	535	523	

2

中期経営計画 「Growing Together 2023」の振り返り

ユアサビジョン360と「Growing Together」の位置づけ

経済価値と社会・環境価値の両面から企業価値の向上を目指す。

企業価値向上

- 経済価値（財務価値）と社会・環境価値（非財務価値）の両面において企業価値が最大化

CXの実現※

- 「つなぐ」イノベーションが常態化した企業グループ
※CX：企業変革（コーポレートトランスフォーメーション）

創業360周年ビジョン 【ユアサビジョン360】

3rd
ステージ

中期経営計画
2023/4～2026/3
Growing Together 2026

2nd
ステージ

中期経営計画 2020/4～2023/3
Growing Together2023

1st
ステージ

中期経営計画 2017/4～2020/3
Growing Together2020

- 提案ビジネスを推進し企業価値の向上を目指す
- ユアサビジョン360達成に向けた仕上げ・収穫のステージ
- 2026年（創業360年）以降のあるべき企業グループへの変革へつなげる

経営理念

- 誠実と信用、進取と創造、人間尊重

1. 定量計画の振り返り

- 売上高、経常利益額とも最終年度（2023年3月期）の修正後計画を達成
- 新型コロナウイルスの影響により成長戦略&コア事業投資が投資枠130億円に対し56億円の実績
- 株主還元率は、自己株式の取得を含め、計画の33%以上を達成

2023年
3月期

売上高・経常利益

売上高計画 4,900億円
実績 5,048億円
経常利益計画 145億円
実績 153億円

※売上高は収益認識基準適用後

成長戦略&コア事業投資額

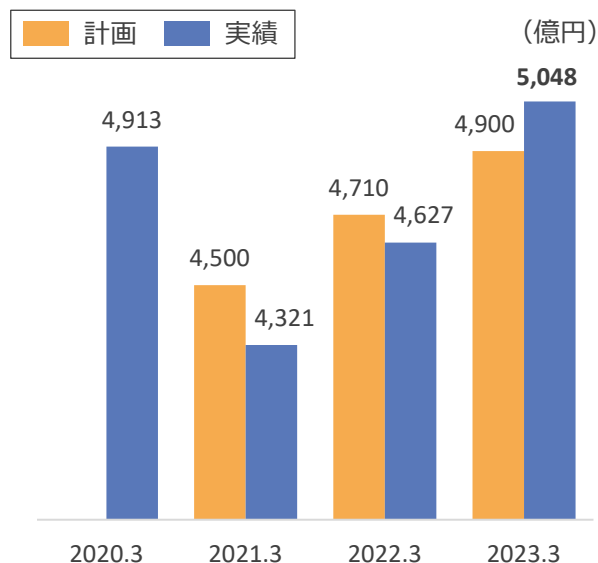
投資枠計画 130億円
実績 56億円

株主還元率（※）

株主還元率計画 33%以上
実績 67%

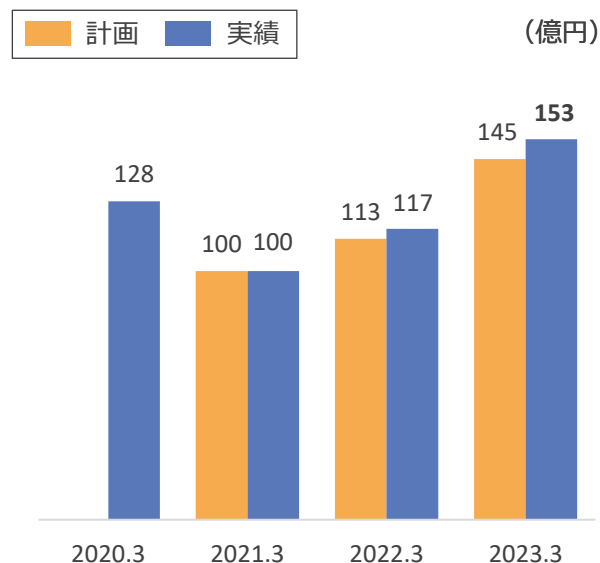
※配当+自己株式取得含む

売上高

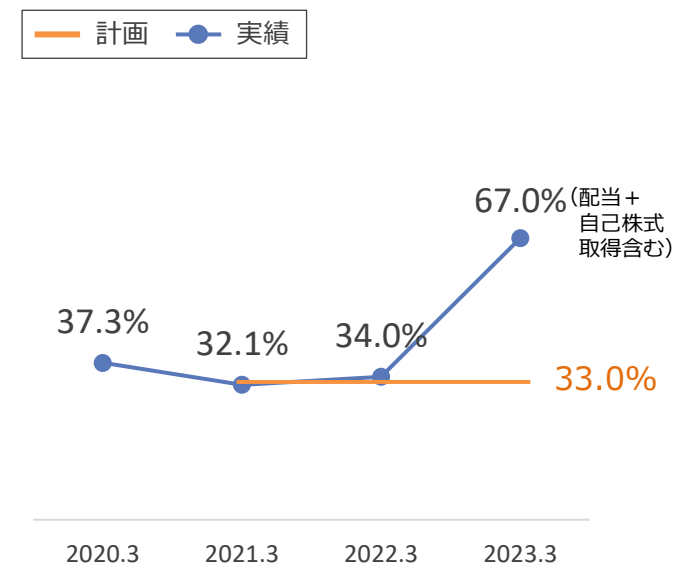


※売上高は収益認識基準適用後

経常利益



株主還元率

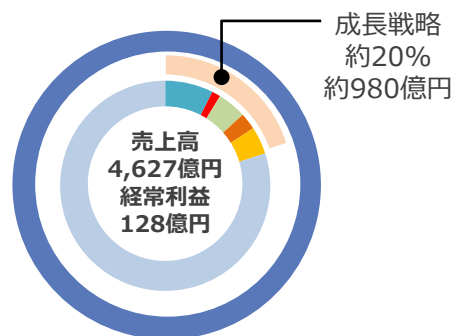


2.基本方針の実行状況

- 環境・エネルギー事業等の拡大により、全社売上に占める成長戦略分野の割合が約25%へ伸長
- 社会課題の解決に向けた「つなぐ」ソリューション提案を推進
- 総合力・チャレンジ・コミュニケーションをキーワードに、持続可能な経営基盤づくりを推進

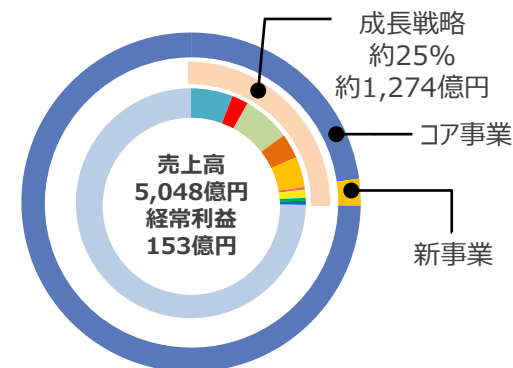
1st ステージ

Growing Together 2020

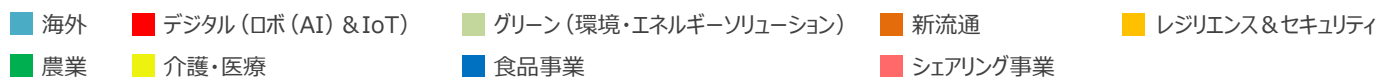


2nd ステージ

Growing Together 2023



※売上高は収益認識基準適用後



基本方針	実行した主な施策
成長分野の発掘と再強化	● 海外事業における現地資本企業への販売強化 ● コネクトームデザイン社 (AIコンサル) との資本業務提携
コア事業の機能強化	● 地域ブロック制の導入による部門連携強化 ● ECプラットフォーム Growing Navi の稼働
経営基盤の強化	● チャレンジする企業風土の醸成 (社内FA制度、社内公募制度、チャレンジ企画制度導入)

基本方針	実行した主な施策
成長戦略の推進	● 社会課題の解決に向けた「つなぐ」ソリューション展開 ● 環境分野におけるカーボンニュートラル推進事業の本格化
コア事業の強化	● 総合力発揮に向けた部門横断組織 (グローイング戦略本部) 設立 ● M&A実績: 中川金属 (産業機器) 丸建サービス (建設機械)
経営基盤の強化	● DX推進に向けたプロジェクトのスタート ● サステナビリティ宣言の発表と具現化に向けた取り組み開始

3.成長戦略の総括

■ 成長戦略分野合計としては2020年3月期比約20%伸長となり、成長ドライバーとして全社業績をけん引

(金額はいずれも億円)

成長戦略	2020.3 実績	2023.3 計画	2023.3 実績	2020.3比 伸長率	総括	
海外事業	364	740	298	▲18.1%	×	・コロナの影響により営業&投資活動が制限 ・タイ法人の総合化を柱とする新事業展開をスタート
環境・エネルギーソリューション事業	219	280	340	+55.3%	◎	・YES-netの活用によるカーボンニュートラル提案 ・太陽光発電、蓄電池、V2Hを組合わせた営業推進 ・JCM（二国間クレジット制度）の提案推進
ロボ（AI）&IoT事業	65	170	117	+80.0%	○	・connectome.design社とのAIソリューションを推進 ・ロボットシステム「Robo Combo」等のオリジナルロボット商品の開発
レジリエンス&セキュリティ事業	208	330	215	+3.4%	○	・つなぐソリューション商品の開発推進（アルミ目隠しフェンス「八千堺」、冠水検知システム「キツキミライ」）
新流通事業	127	190	177	+39.4%	○	・電子商取引（Growing Navi）の取引拡大 ・Growing Navi 掲載商品の充実
介護・医療事業	52	80	58	+11.5%	○	・介護&医療施設向け感染症対策の提案推進 ・開発途上国向け「遠隔ICUプレハブ病棟」の展開
食品事業	-	80	29	-	-	・FOOMA等を通じオリジナル商品に注力するも計画未達。【オリジナル商品開発】飲料異物検査装置、リライタブルレーザーシステム、他
農業事業	19	50	21	+10.5%	○	・飼料配合用オリジナル「あっぺん機」の提案推進 ・収穫作業運搬システムの開発推進 ・農作物免疫活性化UV-B蛍光灯の提案推進
シェアリング事業	-	50	19	-	-	・コロナの影響によりイベントレンタル事業が進まず ・運転手付き農機シェアリング事業のスタート ・ネットレンタル「かりるねっと」事業スタート
成長戦略合計	1,054	1,970	1,274	+20.9%	○	

3

新・中期経営計画 「Growing Together 2026」

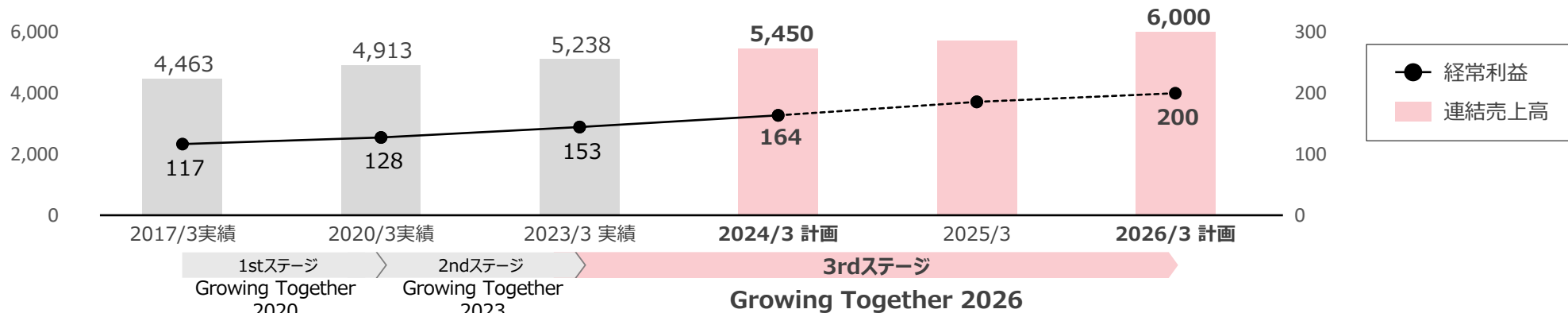
Growing Together 2026 定量計画

- ユアサビジョン360の3rdステージとして、連結売上高6,000億円、連結経常利益200億円を目指す。
- 提案ビジネスを推進し企業価値の向上を目指す。

売上高・経常利益推移

※売上高は収益認識基準適用前

(単位：億円)



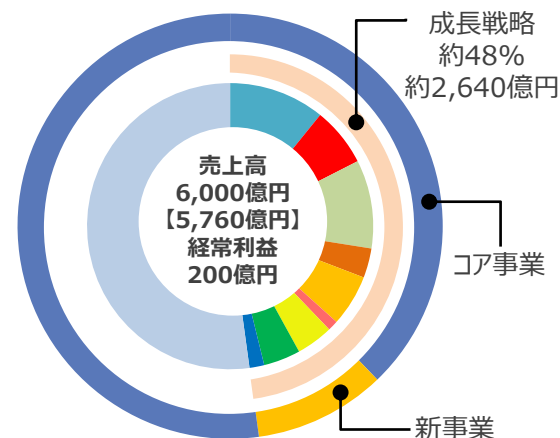
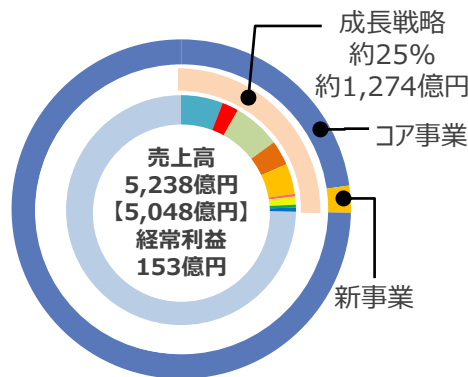
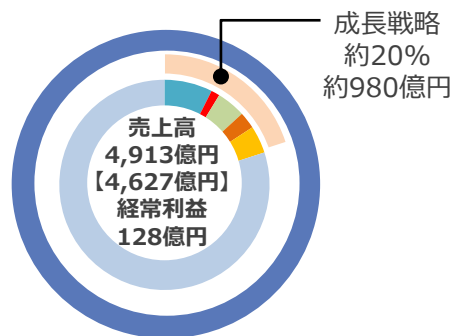
【ユアサビジョン360】事業規模と成長戦略の推移

※【 】内の売上高は収益認識会計基準適用後

Growing Together 2020
2020年3月期実績

Growing Together 2023
2023年3月期実績

Growing Together 2026
2026年3月期計画



事業拡大のための成長戦略

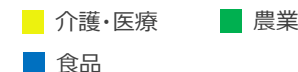
コア事業

事業拡大のために
特に注力する分野



新事業

既存事業で培ってきた商品や
サービスを積極的に展開する事業



マーケットの変化

時間軸

プロダクトアウト

製造メーカーが各々持つテクノロジーや技術力、製造設備といった提供側からの発想やアイデアで商品開発・生産・販売などを行う

- 大量生産・大量消費
- 買い手のニーズよりも提供側の発想で商品を作る
- 企業から消費者へ一方通行で情報が提供される

マーケットイン

製造メーカーがユーザーのニーズや意見を参考に、買い手の立場に立って、買い手が必要とするものを開発・提供

- 答えを提案
- 消費者の能動的な働きかけが可能になり、企業と消費者の関係が双方向に変わる
- 良い商品をつくる

マーケットアウト

消費者あるいは社会が、本当に必要としているコトやモノを発信
当社はそのニーズを理解したうえで事業を組み立て、商品・サービスの企画・開発を行い、提供する

- モノ・サービスの本質に価値
- 自分にあったコトやモノ
- サーキュラーエコノミー、カーボンニュートラル
- 消費者の「共感」が重要

前中期経営計画の継続課題

- 既存事業の収益性向上
- 成長戦略の更なる推進
- 「変えるべきこと」と「変えてはいけないこと」を見極めそれぞれの施策を実施
- 総合力・チャレンジ・コミュニケーションを全グループで取り組み強化
- 戦略立案のためのデータを蓄積・活用できるシステム構築、DX人材育成
- サステナビリティ経営の推進

課題認識

マーケットアウト型への ビジネス変革

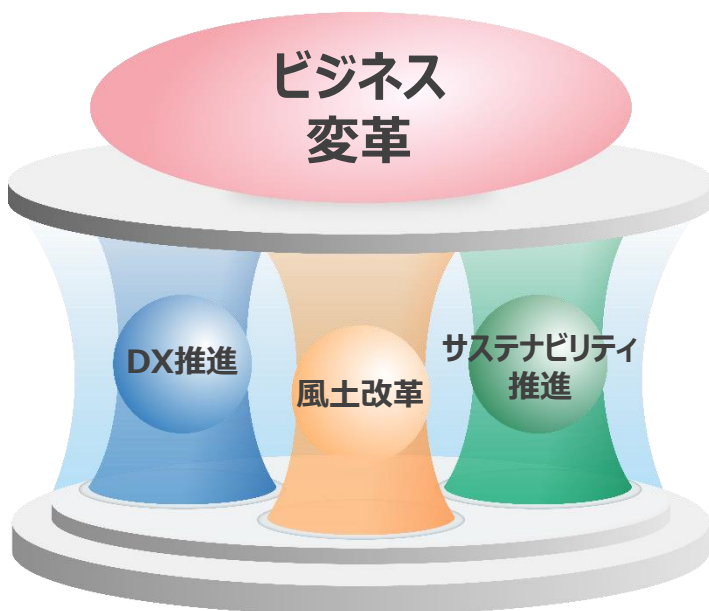
- 社会課題を解決する「つなぐ」ソリューション提案の推進による収益性の向上
- 新たな市場創出と成長戦略の推進
- 既存取引ネットワークによる市場創出・展開
- 変革を実現させる基盤強化・風土改革・サステナビリティ推進

基本方針

モノづくり、すまいづくり、環境づくり、まちづくりの分野において、お取引先様とともに「つなぐ」イノベーションにより社会課題を解決し、新たな市場を創り、国内＆海外に展開することで、企業価値を向上させる。

骨子

- 基本方針の実現のため、風土改革、DX推進、サステナビリティ推進をベースとし、ビジネス変革を進める。
- 創業400年に向け企業理念を継承しさらに発展・進化させる。



誠実と信用

進取と創造

人間尊重

企業理念

企業理念

誠実と信用

ユアサ商事グループは、地球環境との調和を基軸として、世界のいかなる国、地域においても双利共生の環境を重視し、企業活動を通じて、より人間らしい豊かな社会づくりに貢献します。
また、世界の多様な民族、宗教、文化、習慣、制度に対する認識と理解の上に、公正かつ堅実・誠実な活動を通じて、信頼され認められる企業の確立に努めます。

進取と創造

ユアサ商事グループは、事業領域を弾力的かつ社会のニーズによつて的確に把握し、イノベーションを志向する先進企業集団の形成を目指します。
また、優れた技術・製品の導入及びシステム、サービスの開発を行い、専門分野に精通した部門あるいはグループ企業を通じて、無駄のない合理的な方法によって、顧客の皆さまに満足を提供します。

人間尊重

ユアサ商事グループは、社員の個性と権利を尊重するとともに、相互信頼と協調の精神に立脚した組織とルールのもとに、起業家精神と革新的な発想を追求し、実践できる職場環境の形成に注力します。
社員は、各自の目標と責任を明確にし、成果を追求するとともに、事業活動において創造性を発揮することによって経営を分担します。会社は、活動の成果に対しては成果配分を徹底し、社員の貢献に応えます。

ビジネス変革（全体像）

ビジネスモデルを変革し既存取引ネットワークを発展させることにより、既存事業・成長戦略を国内外で拡大します。

ビジネス変革イメージ

企業価値向上 = **Growing Together 2026の達成**

モノづくり・すまいづくり・環境づくり・まちづくり分野の国内・海外市場へ展開

既存取引先ネットワークを発展させ拡大

双方向プラットフォーム



双方向で情報を共有し、
新たな社会課題の解決
を推進

仕入先

主要仕入先
約6,000社

ユアサ
グループ

販売先

主要販売先
約20,000社

業界横断型プラットフォーム



異業種連携で
総合力を発揮し、
「つなぐ」イノベーションを実現

収益性

お取引先様とともに挑む
社会課題の解決

「つなぐ」
イノベーション

ビジネスモデル変革



成長性

成長戦略
推進

成長市場へ
当社の強みを展開

風土改革

DX推進

サステナビリティ推進

企業理念

企業価値向上

国内・海外展開

取引先
ネットワーク発展

ビジネスモデル
変革

変革のベース

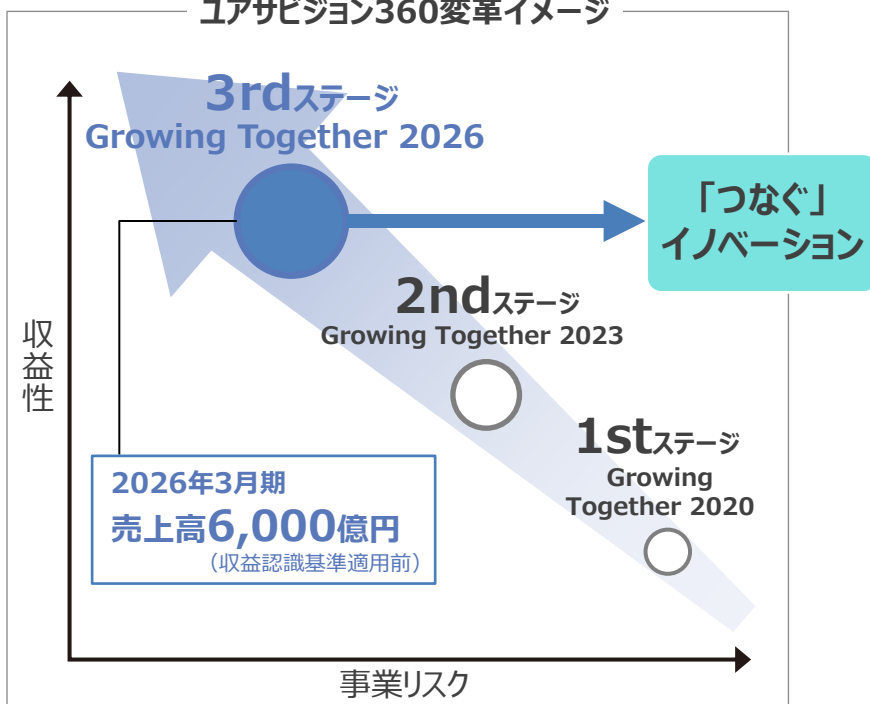
収益性の高いビジネスモデルへ

「つなぐ」イノベーションで、お取引先様とともに社会課題解決に挑み、収益性の高い事業を形成します。

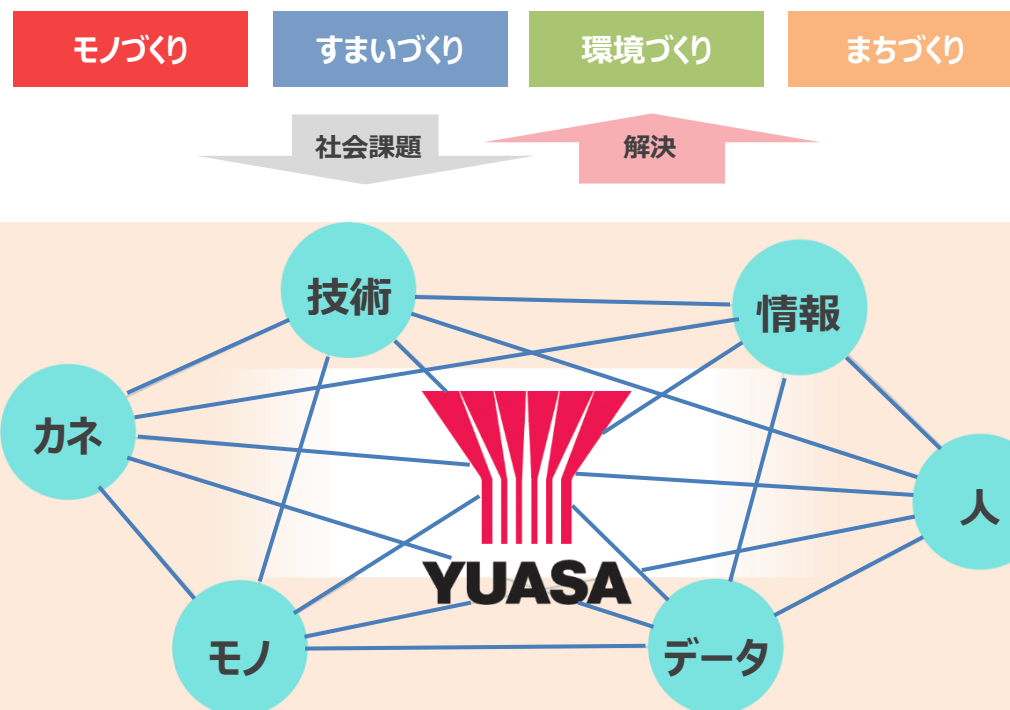
収益性向上

様々なものを「つなぐ」ことで
新たな価値を創出する
「つなぐ」イノベーションを常態化させる

ユアサビジョン360変革イメージ



「つなぐ」イノベーションモデル



- 人・モノ・カネ・情報・データ・技術などあらゆるものを「つなぐ」ことで社会課題を解決し、「モノ売り」と「コト売り」のそれぞれを拡大
- マーケットアウト型のビジネスモデルを確立
- 本部間・グループ会社間シナジーを最大化させ、新しい価値を創出
- サブスクリプション、シェアリングなどへのチャレンジ

AI、データ、技術を活用した「つなぐ」イノベーションを推進しています。

モノづくり

AIによる飲料異物検査装置 FaiND OUT 2

● 社会課題

目視による検査工程の自動化



AIにより異物混入を自動検知

飼料配合装置 オリジナルあっぺん機

● 社会課題

飼料価格の高騰、食料安全保障



国内で調達可能な原料を使って
安定的に飼料を配合

すまいづくり

Vehicle to Home向け門柱 V2H宅配BOX付門柱

● 社会課題

CO₂削減 & スマートライフの実現



V2H機器 + 宅配ボックス付門柱

遊休地活用ソリューション ガレージゴルフ

● 社会課題

企業などにおける遊休地活用



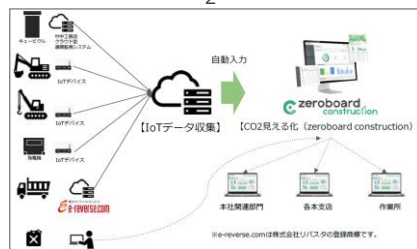
稲葉製作所「イナバガレージ」を活用し
シミュレーションゴルフ設備を簡単設置

環境づくり

IoT活用によるCO₂計測 建設現場CO₂計測システム

● 社会課題

建設現場のCO₂排出量可視化

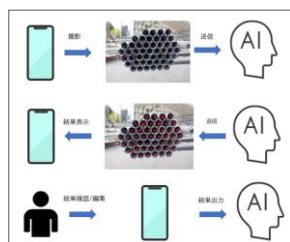


専用センサーによるCO₂の自動計測

仮設資材数量管理システム AI数量カウントシステム

● 社会課題

仮設資材カウント作業の自動化



AIが仮設資材数量を自動カウント

まちづくり

車番認証ゲート SAI-GATE（サイゲート）

● 社会課題

不審車や未登録車の侵入防止

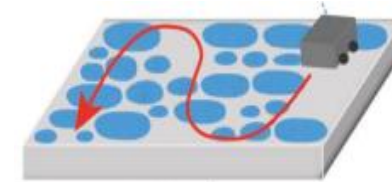


ナンバープレート認識による自動開閉

ロボットを活用した無人管理 コンクリート湿潤管理システム

● 社会課題

目視による湿潤管理の人手不足



センサ付きロボットが自律走行し
1,000平米を30分で判定可能

成長事業の展開

2026年3月期には、売上に占める成長戦略分野の割合を48%まで高めます。※売上高は収益認識会計基準適用後

成長事業推進

- 推進組織による、部門・エリア横断での戦略・情報共有、サポート
- コア事業で培った強み（商品・ソリューション）を展開しキャッシュを積極的に投資

海外

グリーン

デジタル

2026年3月期
650億円

タイを総合力発揮のモデル拠点と位置づけ、ASEAN地域をターゲットに、成功モデルを水平展開する

2026年3月期
600億円

ワンストップソリューション機能を活用し、カーボンニュートラル提案に取り組む

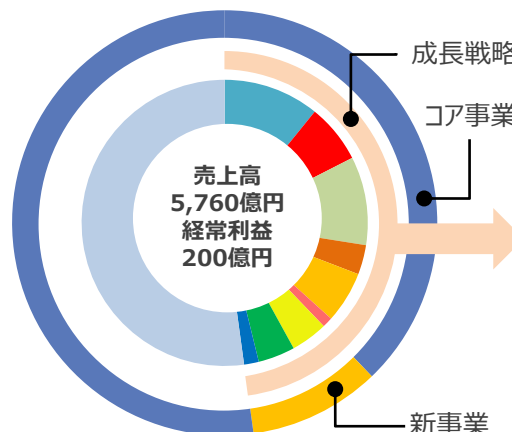
（CO₂可視化、診断、提案、納入、施工、アフターフォロー）

2026年3月期
400億円

グループ機能を活用し、全事業領域において、ロボット・AI・IoTを活用した自動化・省人化・省力化の提案に取り組む

全社推進事業

Growing Together 2026 2026年3月期計画



成長戦略

コア事業

新事業

海外
グリーン（環境・エネルギーソリューション）
デジタル（ロボ（AI）&IoT）
レジリエンス&セキュリティ
新流通
シェアリング

介護・医療
食品
農業

レジリエンス
& セキュリティ

新流通

シェアリング

介護・医療

食品

農業

2026年3月期
350億円

防災・減災・BCP商品
各種セキュリティ商材など

2026年3月期
250億円

BtoB向け
オリジナルECサイト
「Growing Navi」拡大

2026年3月期
100億円

全ビジネス領域で検討、農業機器（コンバイン）は既に事業化

2026年3月期
250億円

施設向け設備機器
●空調、給湯、照明等
●アシストスーツ各種

2026年3月期
160億円

食品工場設備
オリジナル設備など
●AIによる飲料
異物検査機他

2026年3月期
100億円

スマート農業関連資材運搬用機器、あっぱん機
作業負担軽減商品など

エリアや組織別に推進するターゲット市場・チャレンジ領域

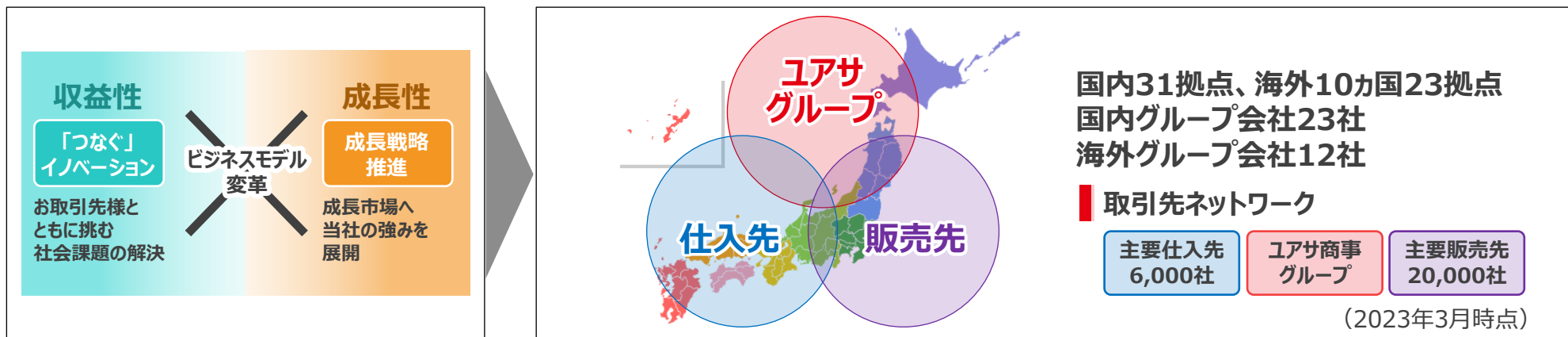
コア事業 **2,350 億円**

新事業 **510 億円**

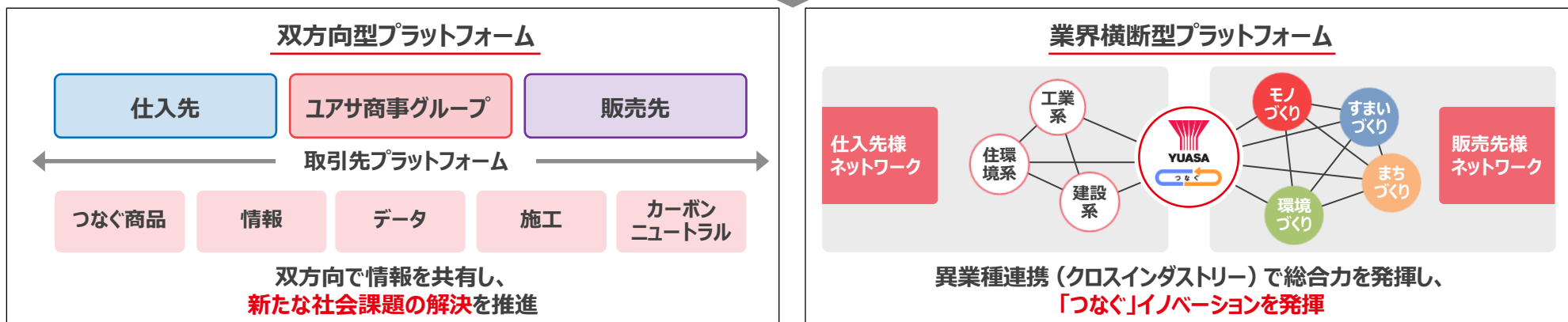
2026年3月期 成長戦略合計 **2,860 億円**

国内&海外への市場展開

「つなぐ」イノベーションで創造した新市場・成長市場を、お取引先様ネットワークをさらに発展させることで国内&海外に展開し拡大させます。



既存取引先ネットワークをさらに発展



展開

国内市場への展開

- グローイング戦略本部を中心とした本部・エリア・グループ横断組織による推進
- グランドフェアを中心とした、グループ総合力を発揮した営業プロモーション強化
- DX推進によるデータを活用した提案推進

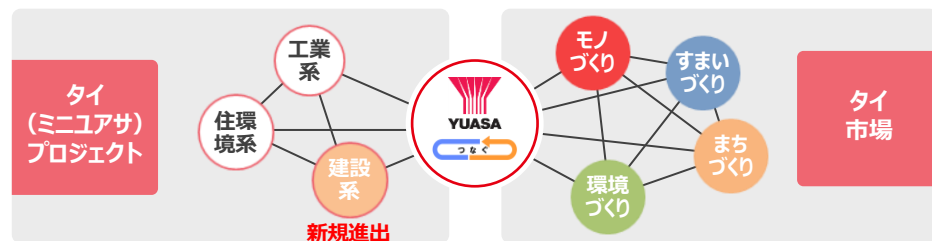
海外市場への展開

- タイ現地法人を総合化（複数部門進出）させ他国へ水平展開
まずは人口増加や経済成長が著しいインド市場へタイモデルを展開予定
- 海外でグランドフェアを開催し、新しい海外プロモーションを確立（2025年タイ開催）

■ ミニユアサ（タイ拠点の総合化）

工業(YUASA TRADING(THAILAND))、住環境(YUASA ENGINEERING SOLUTION(THAILAND))に加え建設分野（建材・建機）の進出とともに、総合力発揮の拠点として新社屋建設を検討。

タイでの業界横断型プラットフォーム展開



タイ市場において
異業種連携（クロスインダストリー）で総合力を発揮し、
「つなぐ」イノベーションを発揮

■ タイ新社屋検討概要

- 建設予定地
バンコク市内
- 新社屋概要
 - ・ ショールーム＆ロジスティクス機能を備えた社屋
 - ・ 総合力（工業・住環境・建設）を発揮するためのフレキシブルなオフィスレイアウト
- 竣工予定
2024年度中

■ タイでグランドフェアを開催（2025年）

タイ市場における総合力＆セールスプロモーション発揮の場として、海外初となるタイグランドフェアを開催します。



2022年 関東グランドフェアの様子（会場：幕張メッセ）



【開催日程】

2025年2月5日（水）～7日（金）

【開催場所】

バンコク国際貿易展示場（BITEC）

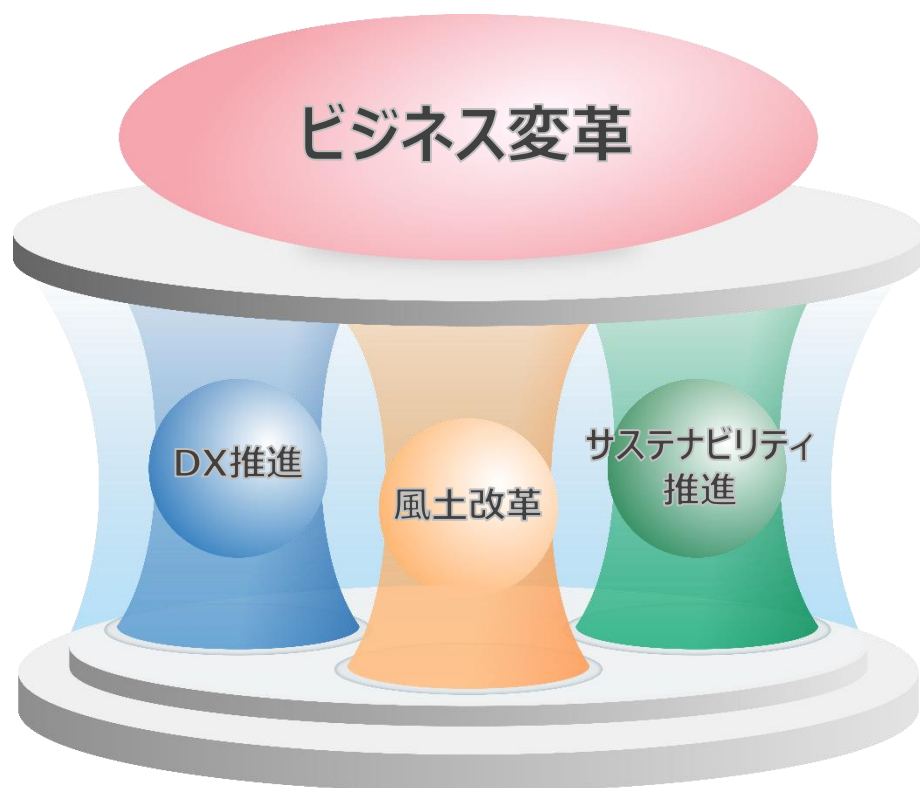


◀ タイ グランドフェアの会場となる
バンコク国際貿易展示場（BITEC）

ビジネス変革を支える3つの施策

ビジネス変革を加速させるため

風土改革・DX推進・サステナビリティ推進の取り組みを強化します。



風土改革

人事改革、環境づくり、ガバナンス強化によりイノベーションが常態化する風土を醸成します。

DX推進

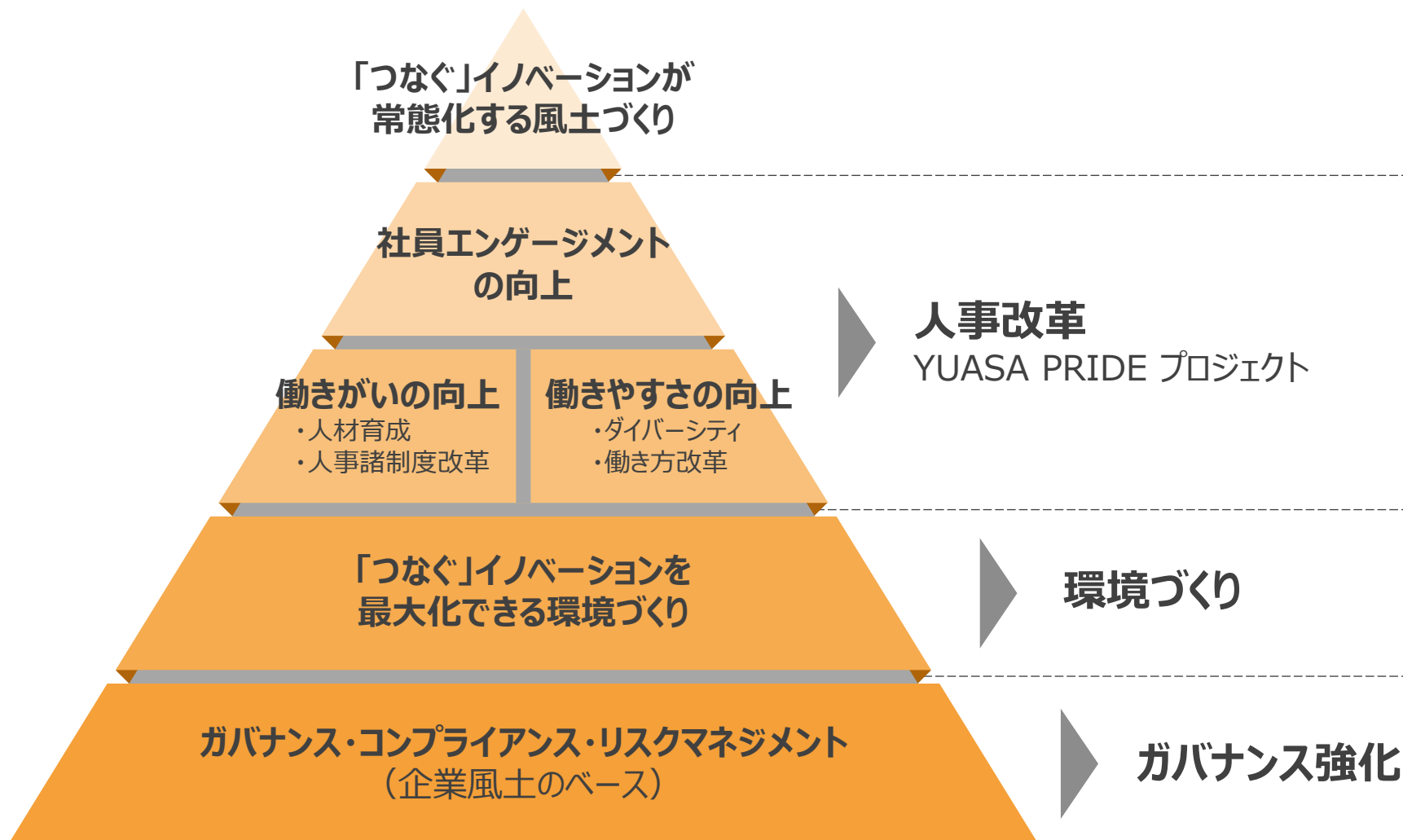
データ活用基盤構築、DX人材育成、業務プロセス改革、イノベーション創出により、ビジネス変革を支えます。

サステナビリティ推進

当社グループのカーボンニュートラルを目指すとともに、カーボンニュートラル推進ビジネスを加速します。

風土変革（全体像）

人事改革、環境づくり、ガバナンス強化により「つなぐ」イノベーションが常態化する風土を醸成します。



人事改革 - YUASA PRIDE プロジェクト

YUASA PRIDE プロジェクト（働きがい向上プロジェクト&人間尊重プロジェクト）により、社員エンゲージメントを高め、「つなぐ」イノベーションで社会課題を解決できる人材を育成します。

経営理念・ビジョン・ユアサバリュー・求める人材像

経営理念

- 「誠実と信用」「進取と創造」「人間尊重」

ユアサビジョン

- 「つなぐ複合専門商社グループ」
- 「ユアサビジョン360の達成」

ユアサバリュー（社員に求める行動指針）

- **チャレンジ**精神を持ち、自組織の領域を超えたユアサ商事グループの**総合力**を発揮することを目指し、その為に部内外のメンバーとの闊達な**コミュニケーション**を心がける。
- 350有余年の伝統を理解したうえで先達に感謝し、弛まぬ革新により新たな価値を創造し後進に継承する。

求める人材像（あるべき仕事の在り方）

- 取引先の経営課題を解決できる人材

働きがい向上プロジェクト

人材育成

- マネージャー層のマネジメント力向上
- 海外マネジメント人材の育成
- DX人材育成、サステナビリティ教育 等

人事諸制度 改革

- 雇用形態（ジョブ型・メンバーシップ型）
- 採用・配置・育成
- 評価・報酬 等

人間尊重プロジェクト

ダイバーシティ 推進

- 多様性の受容
- 経験者社員の活躍推進 等

働き方改革

- 健康経営（労働時間、他）
- 福利厚生（育児休業、他） 等

社員エンゲージメント
向上

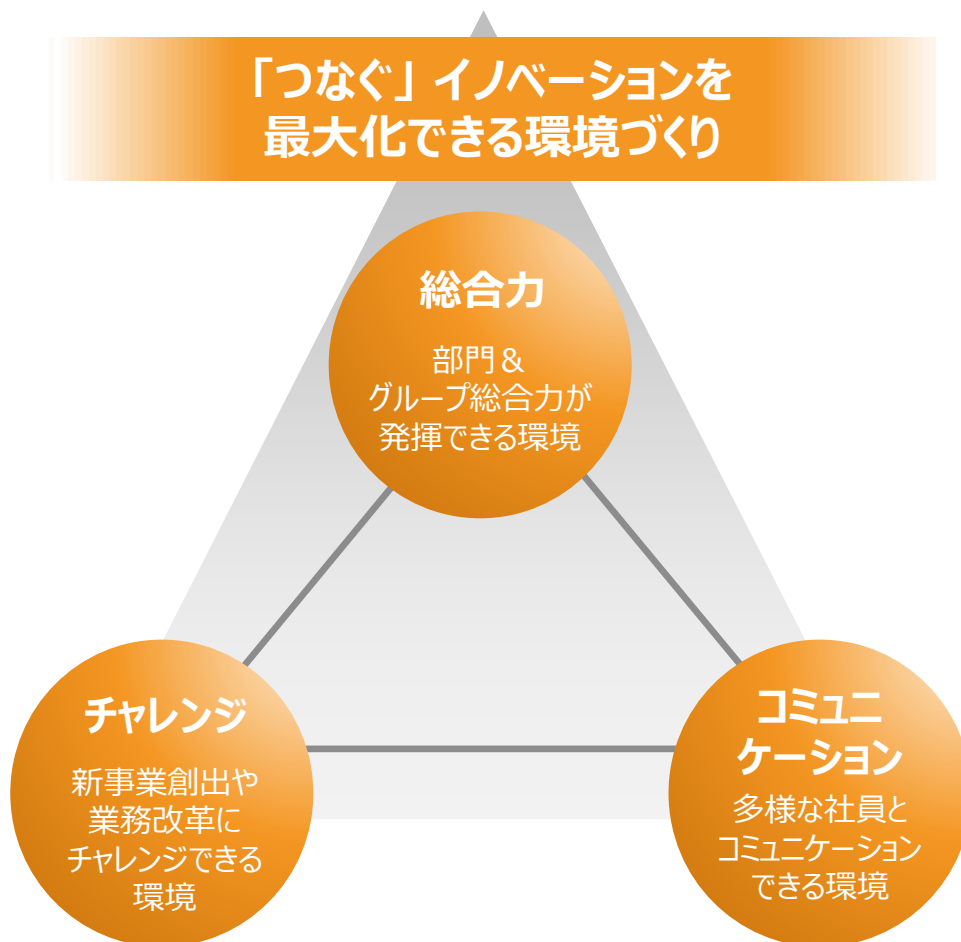
つなぐイノベーション
による
社会課題解決

ビジネス
変革の
加速

新本社をモデルとし、総合力・チャレンジ・コミュニケーションを推進できるオフィス環境を全グループで目指します。

ユアサグループ統合拠点構築プロジェクト

「つなぐ」イノベーションを
最大化できる環境づくり



新本社概要

- **建設予定地**
東京都港区新橋5-9
- **オフィスコンセプト**
社員が快適にいきいきと働き、パフォーマンスを最大限発揮できるオフィス環境を整備し、**働き方改革**を実現します。
 - ① **総合力の発揮**
グループ会社を集約し、ユアサ商事グループの総合力発揮と意思決定の迅速化をはかります。
 - ② **チャレンジの促進**
一つのオフィスに機能を集約し、イノベーション創出を推進します。
 - ③ **コミュニケーションの促進**
部門、職制、年齢等に関係なく集まり、コミュニケーションできる環境づくりを推進します。（Etc.営業の作戦基地、悩みや課題の相談室）
- **建物コンセプト**
 - ① **環境への配慮**
環境総合評価（CASBEE、DBJグリーンビル）、エネルギー性評価（BELS、ZEB）の認証取得を目標とします。
 - ② **最新技術の導入と情報発信**
最新技術を集約したオフィス空間とし、情報発信をおこないます。
 - ③ **地域コミュニティへの配慮**
行きかう人々が憩い、賑わう空間を整備します。

支社支店・グループ会社への展開

上記コンセプトを支社・支店・営業所、グループ会社へ展開し、グループ全体で「つなぐ」イノベーションを最大化できる環境づくりを推進します。

風土変革（ガバナンス強化）

企業品質の向上を目的に、ガバナンス、コンプライアンス、リスクマネジメントの取り組みを強化します。



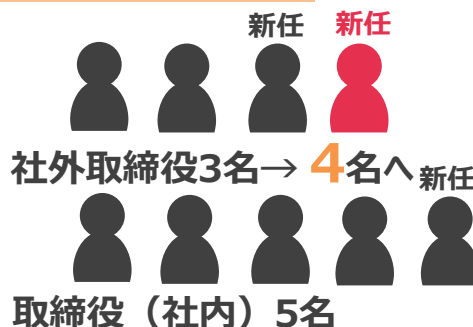
ガバナンス強化の取り組み



社外取締役の増員 ●社外役員比率**46%**、女性役員比率**15%**へ
※2023年5月26日に定時株主総会付議事項として開示予定

1

取締役会



2

監査役会



3

気候変動リスク 対応強化

- TCFDの枠組みによるシナリオ分析と情報開示



5

グループ ガバナンスの強化

- グループ会社計上業務の集約化推進
- 海外グループ会社の統制強化



4

コンプライアンス体制の 強化

- 第三者（倫理・コンプライアンス委員会顧問）によるコンプライアンス体制強化



情報セキュリティ マネジメントの強化

- ITポリシーの整備とITガバナンス強化

ビジネス変革の推進を目的に、データ活用基盤構築、DX人材育成、業務プロセス改革、イノベーション創出を推進します。

ビジネス変革

DX推進

イノベーション の創出

TOPICS



サービスの拡充

機能強化により、「モノ」の生涯価値の向上を目指す



ロジスティクス機能の強化として、AIアルゴリズムで最適配車を計算し、走行距離の短縮と物流コスト、環境負荷の低減に努めています。



「モノ」売りから「コト」売りへ変革

お取引先様の収益とビジネスの成長に向け、新たなビジネスモデルの協創を目指す



グランドフェアのご来場者様の行動履歴・興味を「立ち寄りログ」として取得し、アフターフォロー時の提案内容として活用いたします。

DX 人材育成



データドリブン経営に向け、**経営層を含めた全社員を対象とした**ビジネス感覚の強化とデータ活用に必要なりテラシー向上教育をスタート

業務プロセス 改革



基幹業務の抜本的な見直しと経営管理の高度化を目指す（Fit to Standardの実現）

データ活用 基盤構築



データ分析基盤構築

課題解決に向け当社グループ全体で解決策の示唆や発見ができる仕組みを構築



顧客基盤強化

当社の長い歴史の中で培ったお取引先様との関係を可視化

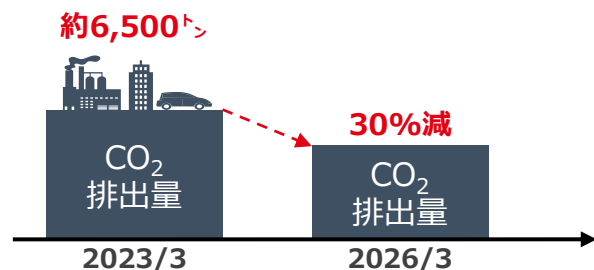
サステナビリティ推進：カーボンニュートラルの推進

当社グループのカーボンニュートラルを目指すとともに、カーボンニュートラル推進ビジネスを加速します。

自社グループのカーボンニュートラル推進

ロードマップ

- 2026年3月迄に**CO₂排出量を30%削減**します。
(2023年3月期比)



電力利用による
CO₂排出量の
削減

- 省エネの推進
(運用改善 & 設備更新)
- 再生可能エネルギーの導入
- 再エネ電力の購入

ガソリン使用の
削減

- 営業用車両のエコカーへの切替

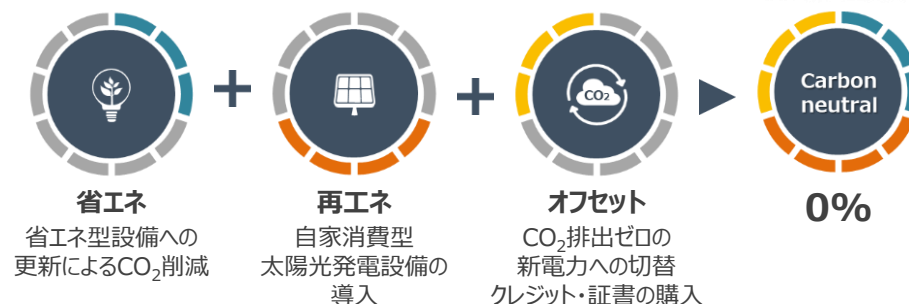
その他の対策

- 社有林の活用
- 排出権の活用

自社グループにおける知見を活かし、お取引先様とともにカーボンニュートラル推進ビジネスを加速

カーボンニュートラル推進ビジネス

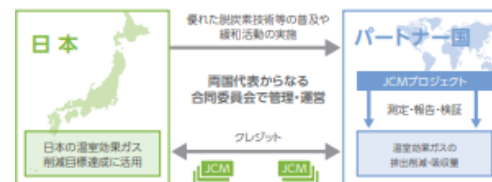
カーボンニュートラル達成のための具体的な実行手段として
省エネ・再エネ・オフセットをご提案します。



お客様に合わせた最適な組合せをご提案いたします

海外でのカーボンニュートラル推進

二国間クレジット制度 (JCM) を
活用し海外企業の省エネ化 &
カーボンニュートラルを推進します。



タイでのカーボンニュートラルセミナー
(2023年1月)

次世代エネルギー推進

- 合成燃料への取組み
- 水素ビジネスへの取組み

対面営業の推進により機動的な成長投資（成長戦略投資＋DX投資）を実施します。

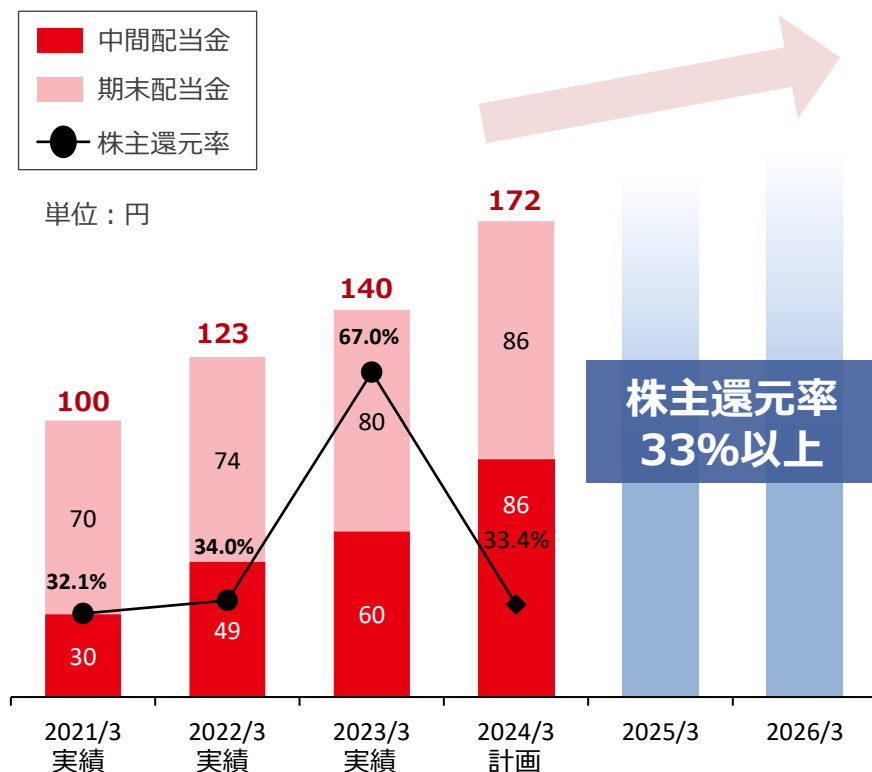
【Growing Together 2023】		
計画	実績	内容
40億円	-	-
40億円	19億円	● 資本業務提携 ・コネクトームデザイン
50億円 ※コア事業 含む	37億円	● M&A ・中川金属（産業機器） ・丸建サービス（建設機械） ● つなぐオリジナル商品開発 ・加工環境ソリューション ・V2H機能付き宅配BOX ・八千堺 ・BCPパッケージ ・遠隔ICUプレハブ病棟、他 ● ECサイト機能開発 ・G-Navi B to B to U対応 ● ロジスティクス強化 ・九州物流センター再整備
40億円	8億円	● ITデジタル投資
170億円	64億円	

【Growing Together 2026】	
計画	内容
60億円	海外事業
	デジタル事業
40億円	グリーン事業
	レジリエンス&セキュリティ事業
	新流通事業
	介護・医療事業
	農業事業
	食品事業
	シェアリング事業
112億円	コア事業
	DX ITデジタル投資
212億円	合計

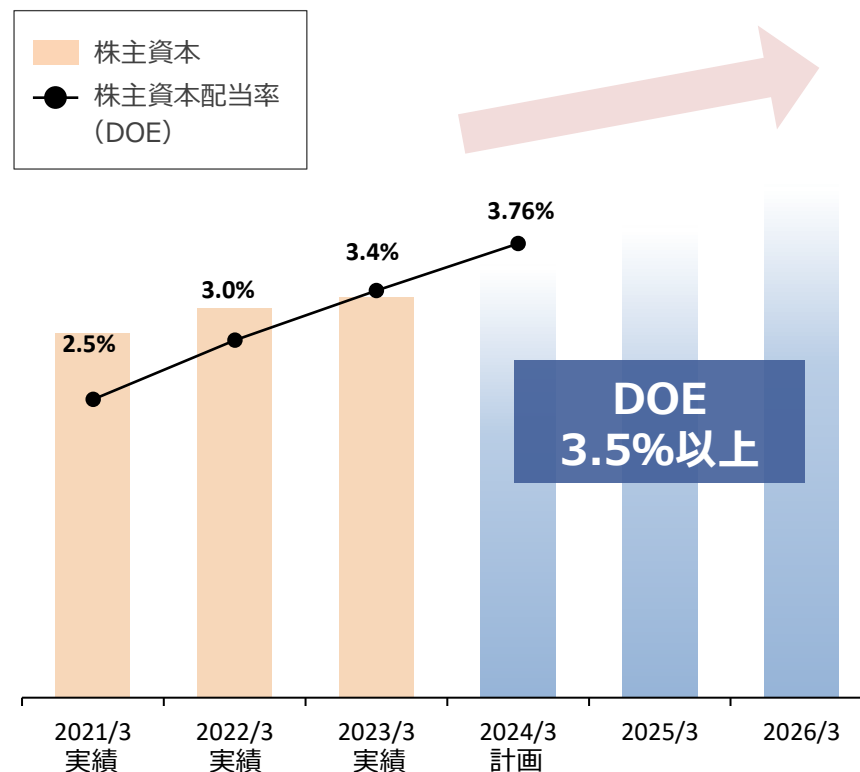
連結株主還元率（配当・自己株式取得）と株主資本配当率（DOE）の向上により安定的な株主還元を継続します。

- **配当**：安定配当を基本とし、連結キャッシュ・フローや投資状況を踏まえ実施します。
- **自己株式取得**（※）：昨年度から約40億円分の取得を行い、5/12に完了（うち今年度実施分2.6億円）
- **企業価値向上**：ROEの向上を目指すとともに積極的な情報開示・IR活動により株価向上に努めます。

1 株当たり配当金と株主還元率の推移



株主資本配当率（DOE）の推移



（※）2022年5月12日の取締役会決議に基づき、40億円を上限（実績：3,999,696,803円）とする自己株式の取得を実施いたしました。
また、自己株式1,055,882株（発行済総数に対する割合4.56%）について、5月31日に消却を実施いたします。

Growing Together 2026の定量計画& K P I

財務KPI

単位：億円（未満切り捨て）

	2023年3月期実績	2024年3月期計画	2026年3月期計画
売上高（※1）	5,048	5,230	5,760
営業利益	145	154	190
経常利益	153	164	200
経常利益率	3.05%	3.1%	3.4%
当期純利益	100	108	132
自己資本利益率（ROE）	10.8%	11.2%	11.8%
株主還元率（※2）	67.0%	33%以上	33%以上
株主資本配当率（DOE）	3.4%	3.5%以上	3.5%以上

（※1）売上高は収益認識基準適用後の数値となります。

（※2）株主還元率の2023年3月期実績には自己株式取得額37億円が含まれております。

Growing Together 2026の定量計画& K P I

非財務KPI

	2023年3月期実績	2024年3月期計画	2026年3月期計画
CO ₂ 排出量 (トンCO ₂) (※1)	—	5,850トンCO ₂ (10%削減)	4,550トンCO ₂ (30%削減)
女性管理職比率	1.9%	2.0%	3.0%
女性総合職比率	4.2%	4.2%	6.0%
女性総合職採用率	10.3%	6.5%	12.0%
男性育休および 育児目的休暇取得率	78.1%	80.0%	90.0%
有給休暇取得率	62.8%	65.0%	70.0%
平均労働時間	1,955時間	1,940時間	1,920時間
マネジメント人材育成 ※研修プログラム受講人数 (のべ)	84名	250名	370名
デジタル人材育成 ※当社独自プログラムの合格者	—	IT人材：100名(※2)	IT人材：600名 DX人材：40名(※3)

(※1) 2023年3月期の当社グループ全体のCO₂排出量見込を約6,500 (トンCO₂) としてKPIを設定しております。

(※2) IT人材…ITツールやデジタル技術を自らの業務に活かし、デジタル施策の実行ができる人材

(※3) DX人材…データ分析結果を活用し、マーケティングと経営戦略に特化した知識により新たな企画立案を行い推進する人材

3

2024年3月期 業績計画

2024年3月期 業績計画

単位：億円（未満切り捨て）

2024年3月期	前半（1Q-2Q）	後半（3Q-4Q）	通期		
	計画	計画	前年実績	計画	増減率
売上高	2,520	2,710	5,048	5,230	+3.6%
営業利益	59	95	145	154	+6.2%
営業利益率	2.3%	3.5%	2.89%	2.9%	+0.0%
経常利益	64	100	153	164	+7.1%
経常利益率	2.5%	3.6%	3.05%	3.13%	+0.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	63	54	100	117	+17.0%

※営業利益率、経常利益率は、収益認識基準適用後の売上高で算出しております。

展示会のご案内

つなぐ **グランドフェア 2023**

モノづくり すまいづくり 環境づくり まちづくり

 関東グランドフェア 7月7日(金) 10:00~17:30 7月8日(土) 9:30~16:30 幕張メッセ (9~11ホール)	 東北グランドフェア 7月21日(金) 10:00~17:00 7月22日(土) 9:00~16:00 夢メッセみやぎ	 中部グランドフェア 9月1日(金) 10:00~17:00 9月2日(土) 9:30~16:00 ポートメッセなごや (新第1展示館)	 関西グランドフェア 9月15日(金) 10:00~17:00 9月16日(土) 9:00~16:00 インテックス大阪 (6号館A・B)	 九州グランドフェア 9月27日(水) 10:00~17:00 9月28日(木) 9:30~16:00 グランメッセ熊本
---	--	--	---	--

 **CSPI-EXPO**
 Construction & Survey Productivity Improvement EXPO

建設・測量生産性向上展
 ~次世代を担う、最先端技術が一堂に~

開催
 2023年5月24日(水)
 ~26日(金)

会場
 幕張メッセ

世界最大級の食品製造総合展

FOOMA JAPAN 2023
 INTERNATIONAL FOOD MACHINERY & TECHNOLOGY EXHIBITION

6/6火 9金 10:00 ~ 17:00
 東京ビッグサイト
 東1~8ホール

日本最大! * 農業・畜産の総合展

第13回 **農業 WEEK**
 AGRI WEEK TOKYO

開催: 2023年10月11日(水)~13日(金)
 会場: 幕張メッセ

2023国際ロボット展
 INTERNATIONAL ROBOT EXHIBITION 2023



リアル会場 2023年11月29日(水)~12月2日(土) 10:00~17:00
 東京ビッグサイト 西1-8ホール 西3-4ホール

オンライン会場 2023年11月22日(水)~12月15日(金)

様々な展示会にて、当社オリジナルの「つなぐ」商品やソリューションを多数展示予定



複合専門商社グループ



ユアサ商事株式会社

本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等は、本資料の発表日現在における入手可能な情報、一定の前提や予期に基づくものです。よって、実際の業績、結果は、経済動向、市場価格の状況、諸制度の変更など様々なリスクや不確定要素により大きく異なる結果となることがありますが、当社は、本資料の情報の利用により生じたいかなる損害に関し、一切責任を負うものではありません。

また、当社は本資料に掲載された予測および将来の見通しに関する記述等について、改訂する義務を負うものではありません。